



私たちは、生徒の「夢・挑戦・自立」を応援します



令和6年6月14日発行
校長 浅香 英典 No.3

表現する力

校長 浅香 英典

5月25日(土)、過ごしやすい天候の中で第40回運動会が挙行されました。当日は、335人の方にご来場いただき、生徒たちの活躍する姿を見ていただくことができました。誠にありがとうございます。

競技について仲間と話し合う姿、真剣に競技や演技をする姿、仲間を全力で応援する姿に心をうたれました。スローガンの「一蓮托生」のとおり、勝敗に関係なく、運動会の成功に向け、仲間とともに全力で競技や演技を行い、各自が役割を全うしたことに大きな成長の跡が見られました。

中でも、演技種目である「ソーラン節」の取組を通じた生徒たちの成長は、非常に嬉しく感じています。昨年度の紅白対抗を改め、初めて全校生徒がそろって取り組みました。生徒代表たちが表現方法を考え、試行錯誤を重ねながら全生徒と共通理解を図ってきました。少しずつ演技の質を向上させていく過程は大変でしたが、練習を重ねるたびに美しさを増していきました。当日は曲の間に何回か隊形を変え、見事な「表現力」のソーラン節を披露してくれました。

本校の学習指導の重点の一つが「表現する力」の育成です。文部科学省が定めるカリキュラムの基準である「学習指導要領」では表現力が課題解決に必要な要素の一つと記されています。表現力は、社会で生きるために必要な力の一つです。自分の気持ちを相手に伝える、考えたことを言葉にすることは人生のあらゆる場面で活用できます。理解力や判断力、思考力を養うための基礎作りにもなると考えています。より良い表現方法を考え、使用することで、自己を認められる経験を積み、自己肯定感が養われます。さらに、他人と円滑にコミュニケーションが取れる協調性や社会性を身に付けることにつながります。

現在、桜花小学校と連携し、「表現力」の育成をテーマにした授業研究を実施しています。小中学校の9年間で、発達段階に応じた表現力を身に付けるためにどのような指導が必要か協議を重ねています。秋以降に授業研究を行い、更に表現力の向上につながる授業づくりを行っていきます。

日々の授業においても個人やグループで考える機会や発表する機会を計画的に設定しています。普段の学校生活では、「美しい言葉」をキーワードに相手の気持ちを考えた表現、自分の思いがより伝わる表現ができるよう、支援を続けています。

表現力向上に欠かせないものは、「学校生活の充実」と考えています。学校では授業だけでも10教科以上あります。学校行事などの多くの経験をする機会があります。教員や来校者などと丁寧に話をする機会があります。これらの学校の教育活動を充実させ、生徒が目的意識や意欲をもって活動することが更なる挑戦につながります。挑戦を続けることが表現力をはじめ、社会の中でたくましく生きる力を身に付けることとなります。今後も、教育活動の質を上げられるよう努めてまいります。ご協力お願いいたします。